

# 嘉手納基地被害に関する要請行動を実施!!



総理官邸で取材を受ける要請団一同

左から 照屋唯和男議員、古謝友義議員、當山均議員、志喜屋孝也議員、新垣貴人議員、德里直樹議長、花城勝男議員、宇榮原京一議員

2月27日・28日の日程で議長及び基地対策特別委員7人が上京し、政府関係機関・各政党・県選出国會議員など、19関係機関に対し、嘉手納基地から発生する騒音・悪臭等の被害軽減を求め、下記項目に関する要請行動を実施した。今回の要請は、本町出身の中川京貴県議會議員のご尽力をいただくなど、各方面のご協力のもと実現した。要請項目は国会予算委員会等において取り上げられ、今回の要請行動は基地被害軽減に向けた第一歩となったが、さらなる基地被害軽減を目指し、今後も政府関係機関等に対し住民の切実な声を届けていきたい。

【大臣要請所感】 10分程度の限られた短い時間であったが、直接基地被害の現状説明と負担軽減の要請ができ、大きな前進と感じた。パラシュート降下訓練や即応訓練等基地の運用状態、排気ガスの悪臭といった基地被害についてもご理解いただけたかと思う。「基地負担軽減に向けて全力を尽くしたい」という言葉に強く期待したい。



宮腰光寛沖縄及び北方対策担当大臣



菅義偉内閣官房長官



岩屋毅防衛大臣



河野太郎外務大臣

## ●要請項目

- 1 米軍機による悪臭被害への早期対策を講じること
- 2 嘉手納基地の訓練激化について実効性のある防止対策を図ること
- 3 航空機騒音並びに航空機事故、訓練等への徹底した対策を図ること
- 4 第353 特殊作戦群駐機場等拡張整備計画に伴うMC-130特殊作戦機の住宅地側への駐機を実施しないこと
- 5 CV-22 オスプレイの嘉手納基地での運用を中止すること
- 6 嘉手納基地における基地使用協定の締結を推進すること
- 7 嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練を全面中止すること

# 政府関係機関・政党・県選出国會議員等へ要請を行う

## 〔政党要請所感〕

各政党とも幹事長や最高顧問等党のトップをはじめとした党役員が対応し、さらには国会内委員会にて要請事項が取り上げられた。

## 〔県選出国會議員要請所感〕

動画とパネルの説明により、基地被害の現状を改めて認識していた。

要請に際し、県選出国會議員の皆様には、政党要請の橋渡しや待機場所の提供など、協力をいただいた。



自由民主党



公明党



希望の党



社会民主党（照屋寛徳議員）



立憲民主党



日本維新の会（下地幹郎議員）



共産党（赤嶺政賢議員）



高橋憲一防衛省事務次官



儀間光男議員



糸数慶子議員



今井絵理子議員



西銘恒三郎議員



宮崎政久議員



伊波洋一議員



国場幸之助議員